

リアル感が人気です!!「きょうと食いく先生」

- 「きょうと食いく先生」とは、農作物の栽培方法や調理方法、京都の食文化等について、小・中学校などで出前授業を行う各分野の専門家を京都府が認定するもの。
- 「きょうと食いく先生」を食農業体験等を体系的に指導できる食育推進リーダーとして育成し、地域における食育活動を効果的に展開。
- 「きょうと食いく先生」による出前授業等を活用した現地指導により、リアル感を伝えることができる食育ボランティアを育成。(食育推進リーダー派遣回数:のべ124回)



【取組の内容】

- 「きょうと食いく先生」による大学での出前授業
府内8大学の栄養士を目指す学生に対し、地域の食・農業について、体験型食育授業を実施。
受講した学生が、将来、栄養士として食育ボランティア活動ができるよう、ノウハウを伝授。



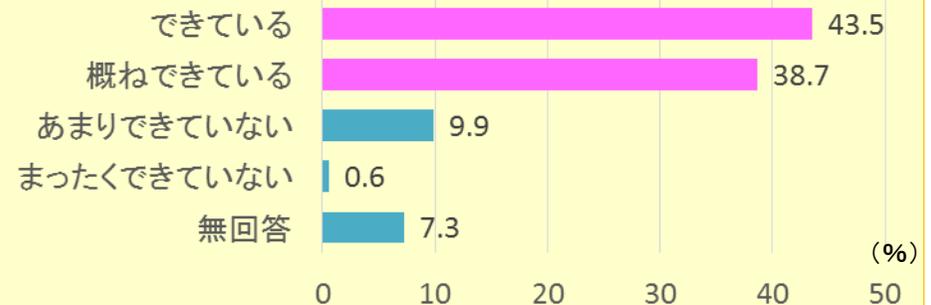
- 食育推進リーダーの育成に向けた研修会等の実施
府内における食育の取組事例の報告や、学校関係者による講演等を通して、食育推進リーダーを育成。
(開催回数:5回、参加者:のべ159名)

【取組の成果】

京都府では、きょうと食いく先生の取組状況や活動に関する進め方について、「きょうと食いく先生推進会議」を開催するなど、組織的な取組をおこなっている。

また、各分野の専門家を同先生として認定し、食育推進リーダーとして育成していることから、リアル感を伝えられる現地指導に貢献している。

主食・主菜・副菜を基本にするなど、栄養バランスのとれた食事を実践していますか？



平成27年度 京都府「食生活」に関するアンケートから抜粋